

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、市主催のイベントなどは中止・延期となる場合があります。詳しくは、担当課に直接お問い合わせいただくか、市ホームページでご確認ください。

本陣四季彩々 春の段「桃の節句」

盆梅とひな人形の他、春の季節を感じさせる掛軸を展示します。歴史ある本陣にて春の訪れを感じてみませんか？

🕒 2月18日(土)～3月26日(日)

📍 史跡草津宿本陣

🎫 入館料要

🕒 史跡草津宿本陣 (草津一)

☎️ FAX561-6636



講演会 「野路小野山製鉄遺跡を考えよう」



国史跡瀬田丘陵生産遺跡群野路小野山製鉄遺跡(野路八)について、これまでの発掘調査成果を報告します。発掘調査で出土した土器などの展示解説も行います。

🕒 2月23日(木・祝) 13:30～15:30

📍 市役所 8階 大会議室

👤 定 100人(先着順)

📅 申 2月6日(月)～20日(月)

📍 申・問 歴史文化財課(6階)

☎️ 561-2429、FAX561-2488

歴史ギャラリー

復活した伊砂砂神社本殿

No.183

重要文化財の本殿を見る事ができます。明治・大正には、境内で大切に保存されていたエピソードとともに、今後は永久に本殿として、その姿を伝え残すことになるでしょう。

伊砂砂神社(渋川二)の本殿は、室町時代の応仁2(1468)年の建立であることが棟札に記された建造物であり、国の重要文化財に指定されています。建造物の柱間は一間のみ、屋根の部分が前方に流れるように形づくられた「一間社流造」の建築様式で、屋根葺材には檜皮が用いられています。また、素木造りで彩色はなく、全体に細身作りではありますが、量感にあふれた建造物で、室町時代の作風を今日に伝えていきます。

このように文化財としての価値が高い伊砂砂神社の本殿ですが、明治時代の初めには、本殿が別に新築されたことに伴い、境内の傍らに移築保存されていました。

それから半世紀を経た大正11(1922)年になって、この社殿の重要性が認識され、当時の「古社寺保存法」に定める「特別保護建造物」に指定されることとなります。そして、大正14(1925)年には解体修理が行われて、再び伊砂砂神社の本殿として復活しました。

現在では、復活後さらに100年近くが経ちましたが、おかげで私たちは室町時代に建てられた重要文化財の本殿を見る事ができます。



▲一時は境内の傍らに移築されていた本殿『近江栗太郡志』より

🕒 歴史文化財課(6階) ☎️ 561-2429、FAX561-2488

Kusatsu Information

いつでもどこでも「広報くさつ」



市ホームページ



ラジオえふえむ草津 (FM78.5MHz) 「声の広報」

スマートフォン用アプリ



- マチイロ
- SideBooks (ちいき本棚)

草津市メール配信サービス

市の情報をメールで配信するサービス



市公式ソーシャルメディア



くさつチャンネル

さまざまな動画や、びわ湖放送(BBC)で放送されている草津スケッチもこちらから配信！



市の花 アオバナ



市の木 キンモクセイ

12月31日現在(対前月比)

● 人口138,336人(+6)

● 男69,366人(-32)

● 世帯数62,624世帯(-19)

● 女68,970人(+38)